

日语

国际水平测试

一级模拟试卷

雷秀坤 刘桂云 主编

大连理工大学出版社

日语国际水平测试

一级模拟试卷

大连理工大学出版社

© 雷秀坤,刘桂云 2003

图书在版编目(CIP)数据

日语国际水平测试一级模拟试卷 / 雷秀坤,刘桂云主编. — 大连:大连理工大学出版社, 2003.6(2003.9重印)

ISBN 7-5611-2161-X

I. 日… II. ①雷… ②刘… III. 日语—水平考试—试题 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 056716 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-4708842 传真:0411-4701466 邮购:0411-4707961

E-mail:dlutp@mail.dlptt.ln.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm 印张:27.5 字数:631千字

印数:6 001 ~ 14 000

2003年6月第1版

2003年9月第2次印刷

责任编辑:王佳玉 于福岳

责任校对:天 田

封面设计:王福刚

定 价:35.00 元

前 言

近年来,随着日本在国际上的影响进一步扩大以及我国与日本日益广泛的经济技术交流,掌握好日语已具有非常现实的意义。特别是在跨入新世纪的元年,我国迎来了加入世贸组织和成为 2008 年奥运会举办国这两大盛事。面临经济、教育等领域与世界接轨这一新形势,日语学习再次出现热潮。

日语国际水平测试是日本国际交流基金和日本国际教育协会对母语非日语的不同国籍、不同肤色的日语学习者与爱好者进行的水平测试。自 1984 年以来,每年 12 月在世界各地举办一次,参加人数众多。这一测试不仅能检验学生的学习程度,而且其中高级证书——1、2 级合格证书,还在求职、升学、留学等场合发挥重要的作用。因此,这是一大幸事,已在日语学习者和在校大学生中达成共识。

为了满足学习日语和备考人士的需要,我们精心选编了供参加 1、2 级测试练习用的模拟题。本着循序渐进的原则,2 级题从试题本身到参考答案都从读者的需求出发,在试题的深浅、回答问题的思路方面做了详细的安排。1 级题的答案较为简练,目的是检验读者的自身能力,激发其继续学习的热情。

希望本书能对参加国际水平测试的人士有所帮助,在短时间内使日语水平得到快速提高。

由于水平有限,错误难免,敬请读者批评指正。

编 者

2003 年 4 月

目 录

模拟 1 试卷	1	解答解说	186
模拟 2 试卷	20	解答解说	211
模拟 3 试卷	39	解答解说	233
模拟 4 试卷	57	解答解说	258
模拟 5 试卷	76	解答解说	283
模拟 6 试卷	94	解答解说	303
模拟 7 试卷	111	解答解说	327
模拟 8 试卷	126	解答解说	348
2000 年日语国际水平测试 1 级真题	141	解答解说	376
2001 年日语国际水平测试 1 级真题	164	解答解说	403
参考文献	433		

模擬 1 試卷

1. 文字・語彙

問題Ⅰ 次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 建物というのは一つのシェルターであるが、ワンルームの家はそれを何よりも直截に示している。ワンルームというといかにも近代の産物のようだが、例えば、大昔のたて穴式住まいや遊牧の民のテントを想像すればいい。これは人類の住居の祖と言えよう。

- | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|--------|
| (1)直截 | 1.ちよくせつ | 2.ちよくざい | 3.じきせつ | 4.じきざい |
| (2)示して | 1.さして | 2.しめして | 3.しして | 4.ていして |
| (3)産物 | 1.さんもの | 2.さんぶつ | 3.さんぶつ | 4.さんぶつ |
| (4)遊牧 | 1.ゆうもく | 2.ゆうぼく | 3.ようもく | 4.ようぼく |
| (5)民 | 1.みん | 2.びん | 3.たみ | 4.たび |
| (6)想像 | 1.そうそう | 2.そうぞう | 3.そうぞ | 4.そうそ |
| (7)人類 | 1.にんるい | 2.にんしゅ | 3.じんしゅ | 4.じんるい |
| (8)住居 | 1.じゅうい | 2.じゅきよ | 3.じゅうきよ | 4.じゅい |
| (9)祖 | 1.おこり | 2.かみ | 3.もと | 4.そ |

問2 青葉の茂る梢に小鳥が鳴く、爽やかな季節がやってきた。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1)茂る | 1.しげる | 2.のびる | 3.はえる | 4.みのる |
| (2)梢 | 1.えだ | 2.みき | 3.こずえ | 4.こだま |
| (3)爽やか | 1.あざやか | 2.おだやか | 3.さわやか | 4.なごやか |

問3 昨日の試合で膝をいためたので、今日は薬を貼って安静にしている。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| (1)膝 | 1.ひじ | 2.ひざ | 3.うで | 4.こし |
| (2)貼って | 1.はって | 2.ぬって | 3.とって | 4.うって |
| (3)安静 | 1.あんしん | 2.あんせい | 3.あんそう | 4.あんじょう |

問題Ⅱ 次の文の下線をつけたことばは、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書くことばを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)橋本さんは区役所で出納係りの仕事をしている。

1. 湿度 2. 首脳 3. 水筒 4. 遂行

(2)祖父は日本画の大家と言われたが、父はまったく絵に関心がない。

1. 代価 2. 退化 3. 題画 4. 台下

(3)彼は重々しい口調で話し始めた。

1. 公聴 2. 区長 3. 駆虫 4. 誇張

(4)「日本」は「ニホン」とも「ニッポン」とも呼称される。

1. 交渉 2. 後生 3. 固執 4. 湖沼

(5)欠陥商品を出さないよう細心の注意を払っている。

1. 血管 2. 決壊 3. 結果 4. 月刊

問題Ⅲ 次の文の下線をつけたことばは、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1.2.3.4から一つ選びなさい。

問1 障害児に対する文部省のほうしん⁽¹⁾は、けんじょう⁽²⁾児は普通学級へ、障害児はようご⁽³⁾学級へときかい⁽⁴⁾的にぶんるい⁽⁵⁾するものである。

- (1)ほうしん 1. 放申 2. 方針 3. 放針 4. 方申
(2)けんじょう 1. 健丈 2. 賢常 3. 健常 4. 賢丈
(3)ようご 1. 養護 2. 擁護 3. 要護 4. 用護
(4)きかい 1. 器械 2. 機会 3. 器会 4. 機械
(5)ぶんるい 1. 分頻 2. 分嶺 3. 分類 4. 分累

問2 私たちのげきだん⁽¹⁾は患者さんをはげます⁽²⁾ため、けっかく⁽³⁾専門のしんりょうじょ⁽⁴⁾をおとずれた⁽⁵⁾。

- (1)げきだん 1. 劇断 2. 劇団 3. 激断 4. 激団
(2)はげます 1. 励ます 2. 慰ます 3. 奮ます 4. 激ます
(3)けっかく 1. 欠格 2. 血核 3. 結核 4. 潔格
(4)しんりょうじょ 1. 診察所 2. 診療所 3. 診療助 4. 診察症
(5)おとずれた 1. 訪れた 2. 訊れた 3. 倒れた 4. 達れた

問3 おおくら⁽¹⁾省は国会にていしゅつ⁽²⁾する今年度ほせい⁽³⁾よさん⁽⁴⁾案のこっかく⁽⁵⁾を固めた。

- | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| (1)おおくら | 1. 大倉 | 2. 大蔵 | 3. 大蒼 | 4. 大臓 |
| (2)ていしゅつ | 1. 延出 | 2. 定出 | 3. 提出 | 4. 停出 |
| (3)ほせい | 1. 浦正 | 2. 捕正 | 3. 輔正 | 4. 補正 |
| (4)よさん | 1. 与算 | 2. 代算 | 3. 預算 | 4. 予算 |
| (5)こっかく | 1. 国格 | 2. 骨核 | 3. 骨格 | 4. 国核 |

問題Ⅳ 問題と同じ漢字を選びなさい。

問1 あん^あせい^んにしていれば、病気は治るでしょう。

- (1)試験の前に教科書をあんきしよう。
- (2)会議で新しい方法をていあんした。
- (3)彼に任せておけば、あんしんだ。
- (4)友だちが京都の寺をあんないしてくれた。

問2 首相はえんぜつを終え会場を離れようとした時、^{はな}暴漢^{はな}に襲^{おそ}われた。

- (1)えんがん200^{かいり}海里は領海です。
- (2)必死にえんぎして嘘^{うそ}をついたが、すぐばれた。
- (3)はっきり言わずもっとえんきよくに言わないと失礼だ。
- (4)他国のえんじょを待つてはいられない。自力^{じりき}でがんばらねば…。

問3 世界は男と女でこうせいされているのです。

- (1)臣下^{しんか}は国王にちゅうせい^{ちか}を誓った。
- (2)印刷する前に原稿を見てこうせいしなければならない。
- (3)練習のせいかを發揮^{はつき}して、優勝戦まで勝ち進んだ。
- (4)御注文を頂いてからせいぞう致しますので、時間がかかります。

問4 結婚したいというがんぼうはあるが、相手がいない。

- (1)がんしょの締め切りは試験日の一か月前です。
- (2)彼女は拾った小猫をあいがんしている。
- (3)人間はがんらいなまけ者である。
- (4)年をとって細かい字が読めない状態をろうがんと言う。

問5 東京も終戦とうじとはすっかり変わりました。

- (1)年齢別人口の変化をとうけいをとって調べる。
- (2)勤めていた会社がとうさんしたので、彼は失業中です。
- (3)事件とうじの彼のアリバイはまだ確認されていない。
- (4)国連は六千人の部隊をとうにゅうして内戦を終結させた。

問題V 次の_____の部分に入れるのに最も適当なものをそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

- (1)あの人は泣いたり笑ったり感情の_____が激しい。
1. 起伏 2. 起立 3. 起動 4. 起用
- (2)運転中は注意を_____ように。
1. おこたる 2. おこたらない 3. おかす 4. おかさない
- (3)豊かな老後を送るには、できるだけ運動をして、体力を_____ことが大切だ。
1. たるむ 2. たれる 3. たもつ 4. たどる
- (4)首都圏の各線で列車が一時_____しましたが、数分後には運転を再開することができました。
1. 停車 2. 停止 3. 中止 4. 終止
- (5)収益から支出を差し引いたら_____に残ったお金はわずかだった。
1. 手足 2. 手頃 3. 手元 4. 手近
- (6)きのうアパートに遊びに来た友人と、_____ことでけんかをしてしまった。
1. ささいな 2. しさいな 3. はるかな 4. ごうかな
- (7)明日は必ず勝つぞと_____。
1. いきごむ 2. いとなむ 3. いためる 4. いやしむ
- (8)乾燥続きで作物がすっかり弱っている。_____の雨が待たれる。
1. かんしゃ 2. めぐみ 3. こううん 4. しあわせ
- (9)そんな_____生活をしていると、今に体をこわしてしまうよ。
1. もったいない 2. くだらない 3. たまらない 4. だらしない
- (10)「できるだけ安くしろ。」「百円おひきするのが_____だ」。
1. なるべく 2. なるだけ 3. せいぜい 4. できるだけ
- (11)今度の仕事で前回の汚名を_____。
1. 返還する 2. 返却する 3. 返済する 4. 返上する
- (12)事情を_____知りもしないであれこれ言うのはやめてもらいたい。
1. きわめて 2. なんだか 3. ろくに 4. どうやら
- (13)情報は_____別にファイルを作って整理している。
1. ジャンプ 2. ジャンパー 3. ジャンボ 4. ジャンル

(14) 彼女は何事にも _____ 取り組むタイプで、仕事はおそいが確実だ。

1. じっくり 2. くっきり 3. てっきり 4. めっきり

(15) 毎日雨で、家の中には、たたみもふとんも _____ している。

1. じめじめ 2. ぬるぬる 3. つるつる 4. さらさら

問題Ⅶ 次の(1)～(5)のことばの意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) 向く…この仕事は力が要るので、女性には向かない。

1. 息子の関心はサッカーに向いている。
2. 毎朝足の向くまま散歩をする。
3. 彼女はそっぽを向いて黙っていた。
4. この生地は薄くて夏服に向いている。

(2) かつぐ…「きれいな人を紹介するよ」と言って、友人を何度もかついだ。

1. 一人で重い荷物をかついだ。
2. 現役時代はよく縁起をかついだものだ。
3. 山田さんをリーダーにかついだ。
4. うそについては、親をかついだものだ。

(3) さがる…危ないですから、白線の内側にさがってください。

1. 成績がさがってしまった。
2. 値段がさがるまで待つ。
3. 少し後ろにさがる。
4. 屋根からつらがさがっている。

(4) 音…結婚しろという周囲の音がうるさい。

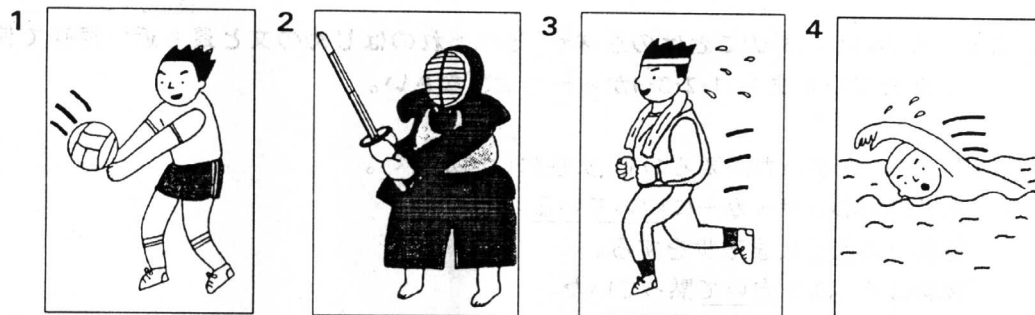
1. 家の前で車の止まる音がした。
2. 国民から解散要求の音が聞こえてきた。
3. 山田君はこのところ音さたがない。
4. 夜中に隣室のテレビの音がうるさい。

(5) あまい…先輩にあまい考えだとしかられた。

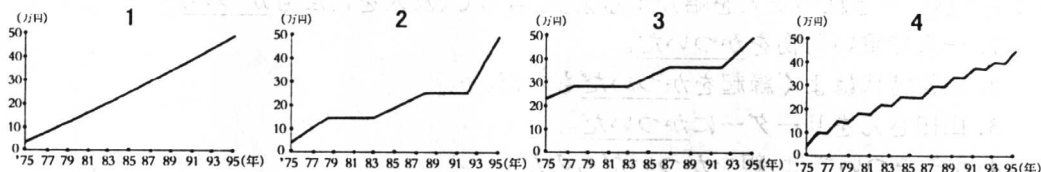
1. あまい言葉で誘う。
2. 先の読みがあまい。
3. 子どもにあまい父親。
4. このコーヒーはあまい。

問題 I

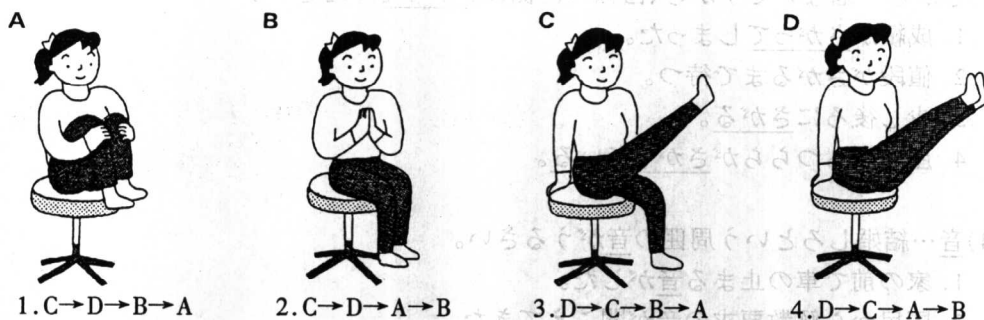
例



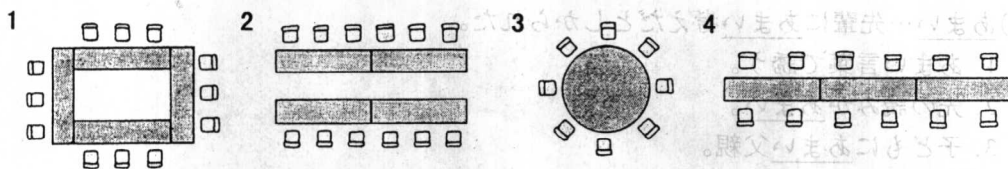
1 番



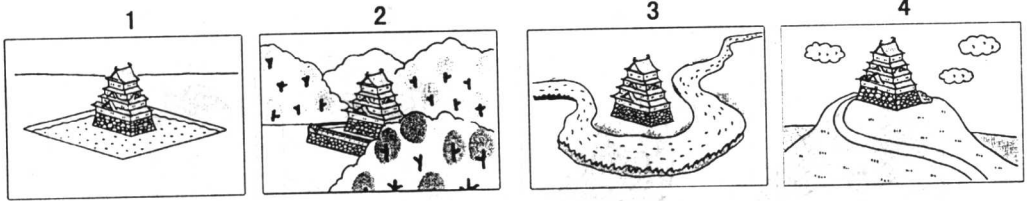
2 番



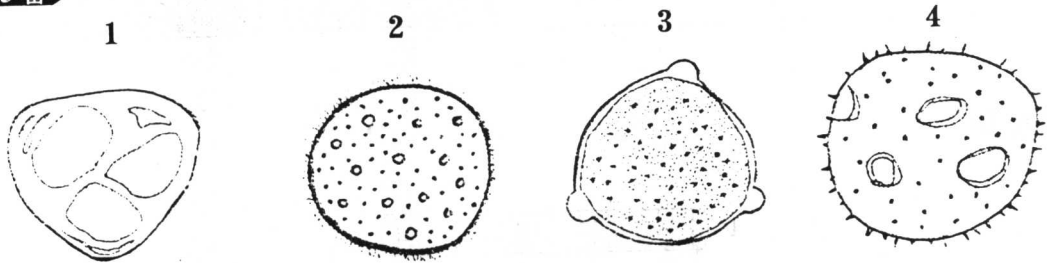
3 番



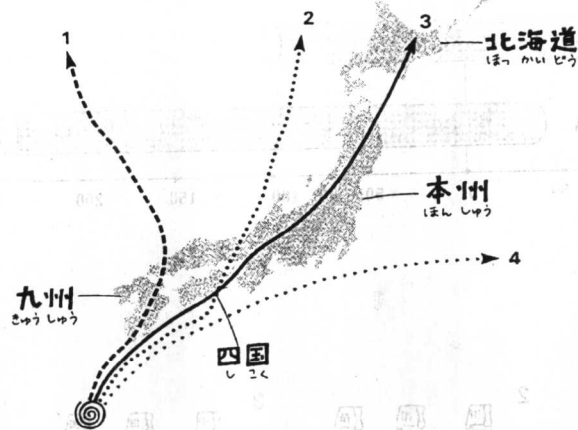
4 番



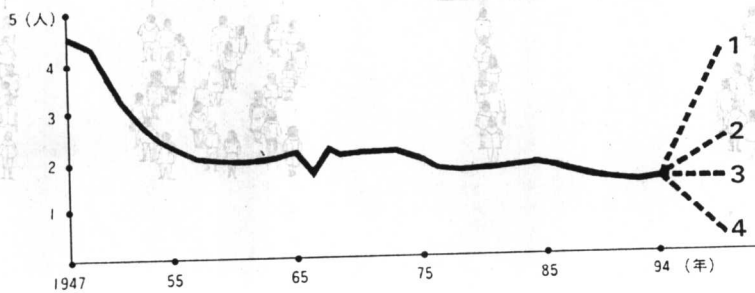
5 番



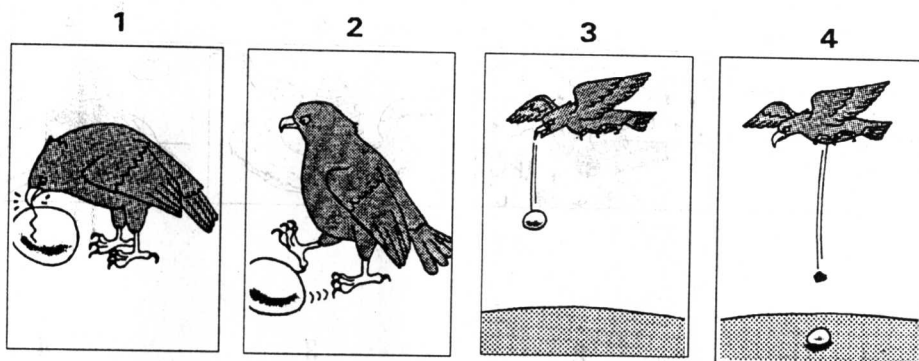
6 番



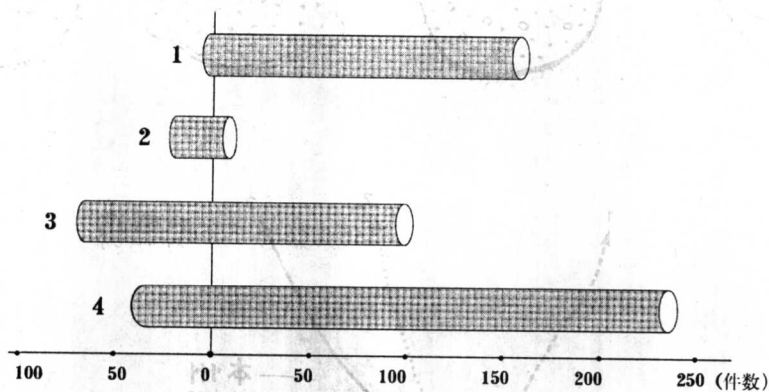
7 番



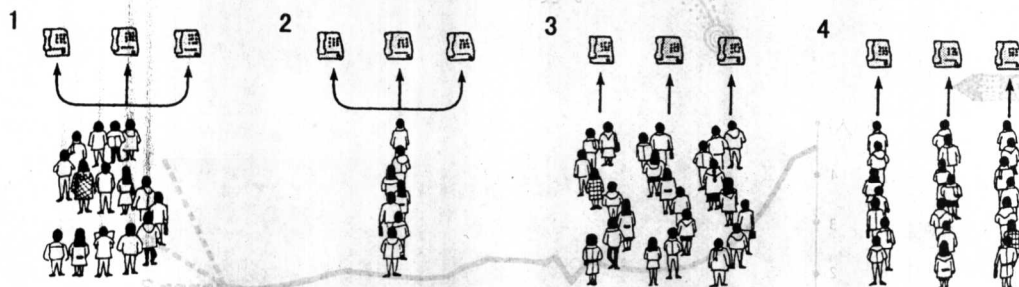
8 番



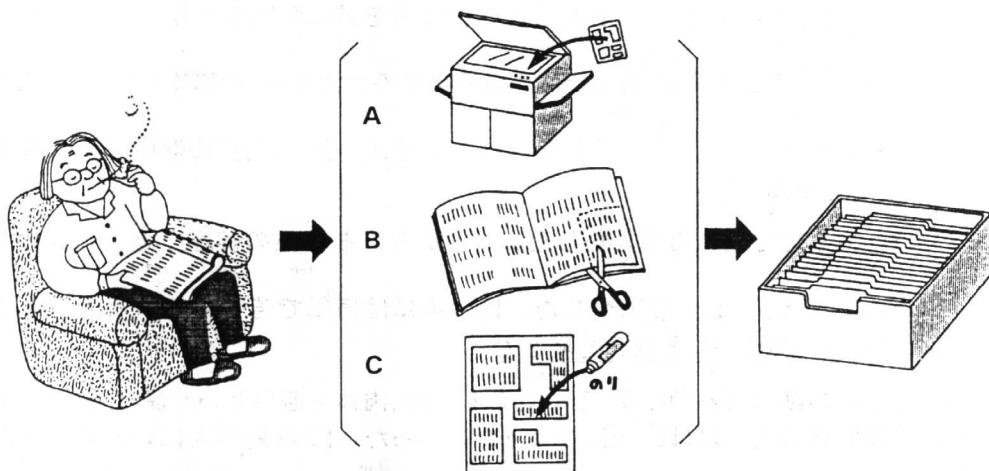
9 番



10 番



11 番



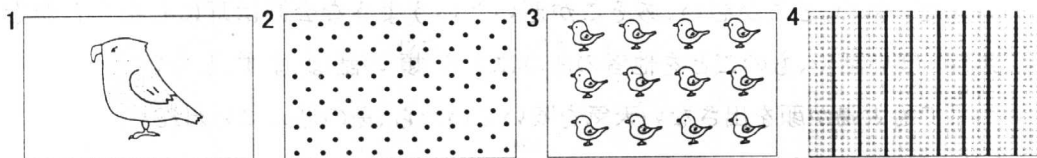
1. A → C → B

2. A → B → C

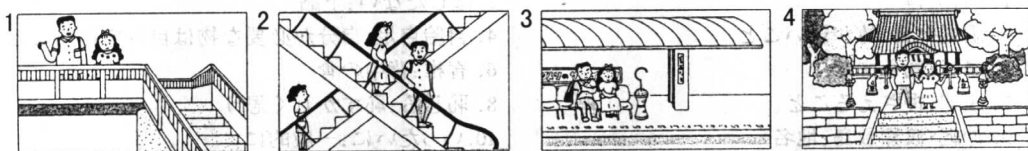
3. B → A → C

4. B → C → A

12 番



13 番



問題Ⅱ 絵はありません。

3. 読解・文法

問題Ⅰ 次の(1)～(3)の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 年より若く見える人は、実際に、その肉体も若いのか。体力はあるのか。
 ちょっと気になる疑問だが、ほんとうに、この調査をやった医師がいた。北九州に住む
 その人から、わたしは直接聞いたのだが、答えは、その通り、であった。わたしは他人か
 ら、十歳から十五歳ほど若く見られることが多い。それで「灰谷さん、よかったね」とい

う気持ちをこめて、この話をしてくれたのだろうと思う。

財を誇る人ははしたない^②ように、自分の若さや健康を鼻にかけるのも、よい趣味とはいえない。わたしは心身とも虚^{注3}弱^{きよじやく}体質^{注4}で、自給自足の生活やら、なにやらで、年をとってから、望ましい体質に変わった。それがうれしくて、(③)自分の健康を人に自慢^{じまん}するよう^⑤なところがあった。

去年の暮れ、生まれてはじめて入院した。過^{注5}労^{せきつひ}からくる脊^{注6}椎^{あつぱく}の神経^{注7}圧迫^{あつぱく}ということだった。神様に叱^{しか}られたような気がした。世の中には病気で苦しんでいる人がたくさんいるのだ。いい気だったと自分を恥^⑧じた。

そこで、はじめの話に戻るのだが、若く見える人は、肉体も若いという説は、わたしの住む沖縄・渡嘉敷島の老人には(⑤)ようだ。いったいに南島の人にいえることだが、早く老人顔になる傾向がある。しかし、そこからがすごい。物腰^{ものごし}は毅然^{ぎぜん}としていて、体全体がしゃっきりしている。そして実際よく働く。畑や海へ出ているのは、たいてい老人だ。体の、どこが悪い、あそこが悪いというような会話は耳にしたことがない。愚痴^{ぐち}っぽい話や、ものごとを他者の所為^{せゐ}にする類^{なぐい}の話は、まず、しない。

いつまでも太陽が顔を出さない天気を嘆^⑬いていたら、島の老人にいわれた。

「自然には自然の都合^⑭というものがあるのです」

(灰谷健次郎「老いの正体」朝日新聞 1997 年 10 月 8 日朝刊より)

注: 1. 肉体: 体

3. 虚弱体質: 体が弱いこと

5. 過労: 働きすぎ

7. 圧迫: 押さえること

9. 沖縄・渡嘉敷島: 地名

11. 物腰: 態度

13. 愚痴: 言っても仕方がないことを言うこと

2. はしたない: 下品

4. 自給自足: 自分が必要な物は自分で作ること

6. 脊椎: 背中の骨

8. 恥じる: 恥ずかしく思う

10. いったいに: 一般的に

12. 毅然: しっかりした態度

14. 嘆く: 悲しむ

問 1 下線①「その通り」とはどういうことか。

1. 年より若く見える人は、肉体も若いし、体力もある
2. 年より若く見える人は、肉体が若いのか、体力があるのか、どちらかだ
3. 年より若く見えても、肉体も若いのか、体力があるのかはわからない
4. 年より若く見えるからといって、肉体も若いとは限らない

問 2 下線②「この話」とは、どんなことか。

1. 筆者が医者から話を聞いたということ
2. 財を誇る人ははしたないということ
3. 筆者が年より若く見えてよかったということ

4. 医者が調査してわかったこと

問3 (③)に入る適当な言葉を選びなさい。

1. いろいろ 2. ついつい 3. そろそろ 4. なかなか

問4 下線④「いい気だったと自分を恥じた」のは、なぜか。

1. 財を誇ったり、自分の若さや健康を自慢するのが趣味だったから
2. 健康を自慢していたのに、過労で入院したから
3. 病気で苦しんでいる人がいるのに、自分の健康を自慢したから
4. 自分が虚弱体質であったのに、自分の健康を自慢したから

問5 (⑤)に入る適当な言葉を選びなさい。

1. 当てはまらない 2. よく当てはまる
3. 当てはまることもある 4. 当てはまるかどうかわからない

問6 下線⑥「自然には自然の都合があるのです」とはどういう意味か。

1. 自然の都合がいいときはいつなのか、よく考えたほうがいい
2. 自然は自然の法則で動くのだから、人間にはどうすることもできない
3. 嘆くよりも、自然の都合をよく知ることのほうが大切だ
4. 自然の都合が人間の都合と反対だということは残念なことだ

2 自然と人間とを対置して考えてみる時、未開民族、とくに野生の動植物資源をあつめて、移動しながら生活する採取狩猟民の世界では、自然に対する人間の力、つまり生存のための技術の力が弱く、人間は自然の^{ほうい}暴威にさらされている。したがって社会結合の単位は小さく。その生活内容も貧しく^{注1}乏しい。しかし、これを人間集団の中の人間関係といった面から見ると、夫婦と子供から成る家族的結合は緊密で、肉親の愛^{注2}情はこまやかだし、戦争も、盗みも、^{さぎ}詐欺も、今日の文明社会で考えられているような意味で起こりうる条件は存在しない。また原始人とか未開人とかいえば、自然の前に無力であるように、さまざまの伝統的な社会力や、神秘的な超自然力の支配に^{くつじゅう}屈^{注3}従し、まじないや^{きとう}祈禱^{注4}に明け暮れしていると考えるのが、いわゆる文明人の常識である(①)人間の技術が低ければひくいほど、人間が自然に対する戦いに弱いことはいうまでもない。しかし、政治にせよ、流行にせよ、信仰にせよ、人間が超個人的な力のままだに支配されている度合は、自然を征服したと誇るわれわれ現代の文明人の方が、原始人よりも^{けた}桁^{注5}ちがいに大きいのではあるまいか。親しく彼らに接した人類学者たちはいずれも、狩猟採取民の社会では、制度が個人を支配する程度が少なく、社会や文化に

対する個人の比重はそれだけ(a)と言う。つまり食料採集民のように、幼稚な技術水準に対応する、単純で小規模な社会結合をもった人間ほど、個人は機械力に隷^{れいじゅう}従^{注6}する

度合が(b)のと同様に、また制度的な価値の拘束^{こうそく}をうける程度が(c)、個人のたくましい創意や能力のはたらく余地は、それだけ相対的に(d)というのである。ところが農耕だの牧畜だのといった多くの新技術の発明によって、いわゆる自然の征服が進めばすすむほど、社会的結合の範囲は拡大し、内部の人間関係も分化して複雑となり、とくに金銭^{ばんのう}萬能の商品生産の社会にいたって、人間は逆に、ますます強い人間外の力に支配されるようになる。いわゆる人間の自己疎外^{そがい}だ。そしてついに、核兵器とオートメーションとマスコミの現代文明の重圧^{じゅうあつ}の下では、手段としての機械力が自立化し、個々の人間は文明という巨大な機構の部分品と化して、その(②)。

(石田英一郎『東西抄 - 日本・西洋・人間』築摩書房より)

- 注:1. 暴威:あらつばい威力 2. 緊密:密接 3. 屈従する:意志に反して従う
4. まじない:神仏に祈って、災いを及ぼしたり、災いから逃げたりすること
5. 祈禱:神仏に祈ること 6. 隷従する:支配する者の言いなりになる
7. 自己疎外:本来の自分の本質を失い、本質と離れた状態になること

問1 (①)に入る適当な言葉を選びなさい。

1. それとも 2. それとなく 3. なんとか 4. なるほど

問2 (a) ~ (d)に入る適当な言葉を選びなさい。

1. (a)大きい (b)多い (c)高く (d)広い
2. (a)小さい (b)多い (c)高く (d)狭い
3. (a)大きい (b)少ない (c)低く (d)広い
4. (a)小さい (b)少ない (c)低く (d)狭い

問3 (②)に入る適当な言葉を選びなさい。

1. 主体性を失うまいとする 2. 個性を失うべきではない
3. 全体性を失いがちだ 4. 自主性を失ってしまう

問4 本文の内容と合わないものはどれか。

1. 原始人は社会的水準は低いが、集団に及ぼす個人の力は大きい
2. 原始人は超個人的に支配されているため、社会に対する個人の比重は小さい
3. 現代人は制度に縛^{しば}られ、自己の意志にしたがって行動することが難しい
4. 現代人は多くの新技術を開発した結果、自己疎外をひき起こした

3 「昨夜、悪魔がやってきました」と、患者は医者にいった。「癌^{がん}で死にかけてい